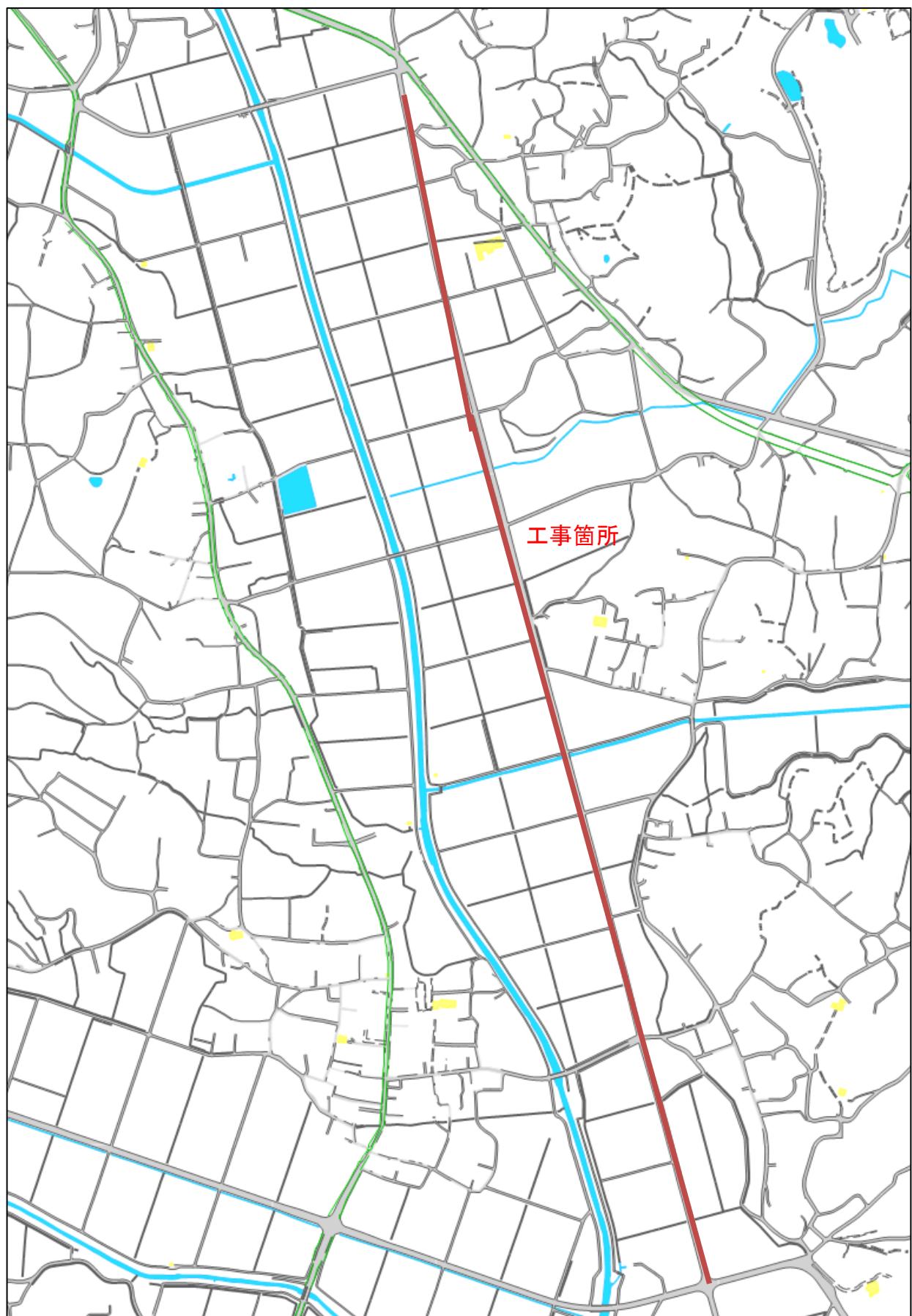


# 工事起工 概要書

		部長	次長	課長	副参事	課長補佐	係長	課員	審査員	設計者	
執行年度	令和 2 年度										
工事番号 工事名	R2単・市道B7363号線区画線設置工事 第02-00-601-L-001号 起工 設計書										
工事場所 又は履行場所	石岡市 下林 地内										
施工方法	請負			原契約年月日		年 月 日					
工期又は 履行期間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで 150 日間										
受注者											
費目	起工	第1回変更			増減(△)		変更請負に付する工事価格 $= \text{変更積算工事価格} \times \text{請負比率}$  請負比率: $\frac{\text{起工(前回変更)時の請負決定額}}{\text{起工(前回変更)時の積算額}}$ (小数第7位切り捨て6位止め)  変更積算工事価格 — 円  請負比率 —  変更工事価格 — 円				
起工額											
請負(委託) に対する額											
工事(業務) 価格											
測量試験費 又は工事雑費											
消費税相当額											
請負(委託) 決定額											
工事概要											
内容	規格1	数量1	単位1	規格2	数量2	単位2	規格3	数量3	単位3		
区画線設置工 L = 5339m											
減速施設設置工 N = 2箇所											
変更理由											

## 位 置 図



R2単・市道B7363号線区画線設置工事 (石岡市 下林 地内)

## 特記仕様書

### (総則)

第1条 本特記仕様書は、R2単・市道B7363号線区画線設置工事に適用する。  
2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

### (工期)

第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇を含んでいる。

### (工事数量)

第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

### (工程関係)

第4条 工事の作業時間帯は、下表のとおりとすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

### (建設資材)

第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたリサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格

### (建設機械)

第6条 使用機械のうち、バックホウ、ブルドーザー、モータグレーダ、ロードローラ、タイヤローラについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上（ただし、バックホウ山積0.8m<sup>3</sup>並びにASフィニッシャーについては、第2次基準値のもの）を使用すること。

2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

### (過積載の防止)

第7条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1)積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込みます、また積み込ませないこと。
- (2)過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3)資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

#### (交通誘導員の配置)

第8条 工事の施工にあたっては、交通誘導員2名を配置し、一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお、交通誘導員は警備業者の交通誘導業務に従事する警備員とともに、別途協議する道路工事実施協議書どおりの配置により難い場合には、監督員と協議すること。

#### (不正軽油の使用防止)

第9条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1) 現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2) 現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3) 不正軽油を購入しないこと。
- (4) 取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
- (5) 下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6) 県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
- (7) 当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

#### (労働安全衛生法等の遵守)

第10条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて抗等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
- (2) 受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。

- (3) 受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
- (4) 受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
- (5) 受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
- (6) 受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。

2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第11条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

# 工事数量総括（内訳）表

第 02-00-601-L-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種 種別	数量	単位	金額	細別 内訳
道路維持			式		
		1			
区画線工			式		
		1			
区画線工			式		溶融式区画線 5,339.000 m
		1			
減速施設設置工			式		
		1			
減速施設設置工			式		減速施設設置工 2.000 本
		1			
仮設工			式		
		1			
交通管理工			式		交通誘導警備員 12.000 人日
		1			
直接工事費計			式		
		1			
共通仮設費（率計上）			式		
		1			
共通仮設費計			式		
		1			
純工事費			式		
		1			
現場管理費			式		
		1			
工事原価			式		
		1			
一般管理費等			式		
		1			
工事価格			式		
		1			
消費税相当額			式		
		1			
請負工事費			式		
		1			

# 本工事費内訳書

第02-00-601-L-001号

実施 起工 設計書

工事区分	工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路維持						
区画線工						
区画線工						
溶融式区画線			m			
		5,339.000				
区画線設置（外側線） 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(溶融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(実線 15cm), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚(1.5mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 溶融式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(白), ブライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)		4,190.000	m			第0001号代価表
区画線設置（センターライン） 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(溶融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(破線 15cm), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚(1.5mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 溶融式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(白), ブライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)		1,070.000				第0002号代価表
区画線設置（優先道路破線） 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(溶融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(破線 30cm), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚(1.5mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 溶融式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(白), ブライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)		79.000	m			第0003号代価表
減速施設設置工						
減速施設設置工						
減速施設設置工		2.000		本		
減速施設（ハンプ）設置工 1840mm×610mm		2.000	箇所			

# 本工事費内訳書

第02-00-601-L-001号

実施起工設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
仮設工									
交通管理工									
交通誘導警備員					12.000	人日			
交通誘導警備員B					12.000	人日			第0004号代価表
直接工事費計									
共通仮設費（率計上）									
共通仮設費計									
純工事費									
現場管理費									
工事原価									
一般管理費等									
工事価格									
消費税相当額									
請負工事費									

第 0001 号 代価表 区画線設置

第 02-00-601-L-001 号

1000.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置（溶融式） 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	1,000.000	m			
トライフィックペイント 溶融型 3種1号 ビーズ15~18 白	570.000	k g			
ガラスピーブ 0.106~0.850mm	25.000	k g			
接着用プライマー 区画線用	25.000	k g			
軽油 1.2号	44.000	L			
諸雑費（率+まるめ）	1.000	式			
合計				単位当り	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 夜間作業の有無	1	無し
J 0 2 施工方法区分	1	溶融式手動
J 0 3 豪雪補正の有無	1	無し
J 0 4 規格・仕様区分	1	実線 15cm
J 0 5 時間的制約の有無	1	無し
J 0 6 塗布厚	1	1.5mm
J 0 7 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J 0 8 未供用区間の場合の補正	1	無し
J 0 9 溶融式塗料規格	1	含有量15~18%
J 1 1 塗料区分	1	白
J 1 2 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0002 号 代価表 区画線設置

第 02-00-601-L-001 号

1000.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置 (溶融式) 昼間 豪雪無 破線15cm 制約無	1,000.000	m			
トライフィックペイント 溶融型 3種1号 ビーズ15~18 白	570.000	k g			
ガラスピーブ 0.106~0.850mm	25.000	k g			
接着用プライマー 区画線用	25.000	k g			
軽油 1.2号	49.000	L			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計				単位当り	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 夜間作業の有無	1	無し
J 0 2 施工方法区分	1	溶融式手動
J 0 3 豪雪補正の有無	1	無し
J 0 4 規格・仕様区分	5	破線 15cm
J 0 5 時間的制約の有無	1	無し
J 0 6 塗布厚	1	1.5mm
J 0 7 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J 0 8 未供用区間の場合の補正	1	無し
J 0 9 溶融式塗料規格	1	含有量15~18%
J 1 1 塗料区分	1	白
J 1 2 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0003 号 代価表 区画線設置

第 02-00-601-L-001 号

1000.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置 (溶融式) 昼間 豪雪無 破線30cm 制約無	1,000.000	m			
トライフィックペイント 溶融型 3種1号 ビーズ15~18 白	1,130.000	k g			
ガラスピーブ 0.106~0.850mm	50.000	k g			
接着用プライマー 区画線用	50.000	k g			
軽油 1.2号	80.000	L			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 夜間作業の有無	1	無し
J 0 2 施工方法区分	1	溶融式手動
J 0 3 豪雪補正の有無	1	無し
J 0 4 規格・仕様区分	7	破線 30cm
J 0 5 時間的制約の有無	1	無し
J 0 6 塗布厚	1	1.5mm
J 0 7 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J 0 8 未供用区間の場合の補正	1	無し
J 0 9 溶融式塗料規格	1	含有量15~18%
J 1 1 塗料区分	1	白
J 1 2 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0004 号 代価表 交通誘導警備員B

第02-00-601-L-001号 1.000 人日 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B	1.000	人			
合計					
			単位当たり		

条件名称

入力値

入力名称

## 元設計数量総括表

設計書名 : R2単・市道B7363号線区画線設置工事

事業区分 : 市道B7363号線  
工事区分 : 区画線工

工種	種別	細別	規格	単位	元数量		変更出来高 数量	元設計数量と 変更出来高 数量の差	変更設計数量	摘要
					計算数量	設計数量				
区画線工				式	1.0	1.0				
	区画線工			式	1.0	1.0				
		溶融式区画線	白、実線、W=15cm	m	4,190.0	4,190.0				外側線
		溶融式区画線	白、破線、W=15cm	m	1,070.0	1,070.0				センターライン
		溶融式区画線	白、破線、W=30cm	m	79.0	79.0				優先道路
		セフティマーク	実線(白)、W=45cm	m	0.0	0.0				
		直右折矢印 予告	W=15cm換算	m	0.0	0.0				
		直進矢印	W=15cm換算	m	0.0	0.0				
		右折矢印	W=15cm換算	m	0.0	0.0				
		追突注意	実線(白)、W=15cm換算	m	0.0	0.0				
		速度表示 50	実線(白)、W=15cm換算	m	0.0	0.0				

## 元設計數量總括表

設計書名：R2単・市道B7363号線区画線設置工事

事業区分：市道B7363号線  
工事区分：区画線工

